

こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2021年10月10日



政権交代で国も京都市も変えよう 19日公示、31日投票で総選挙

総選挙の日程が決まりました。井上議員は、「市の『財政危機』打開のためにも、国の政治を変えましょう。野党共闘で新しい政権を創れば、暮らしを守り生活の向上、地方自治の拡大充実は必ずできる」と訴えています。

市民のいのちと健康、 くらしと仕事を守ろう

市議会本会議代表質問より

9月30日と10月1日、市議会で各党代表質問があり、日本共産党から、井坂博文(北)・鈴木とよこ(山科)・鎌野敏徳(下京)の3人の同僚議員が立ちました。質問と市長らの答弁の要旨、井上議員の感想を紹介します。

※ ※

● 質問Ⅱ ワクチンとともに検査の拡充で感染拡大防止、命を守れ。
 ○ 保健所を各区に戻せ。
 ○ 答弁Ⅱ 検査は高齢者施設などで実施。保健所は市として一カ所で集中的に対応している。
 ◎ 感想Ⅱ 高齢者施設だけでは不十分との質問なのに。今般、市は自宅療養者の健康観察を民間の医療機関に委託したが、そのこと自体、

新しい政権で

持続化給付金と

再支給を実現しよう

消費税減税を

温暖化対策を

ジェンダー平等へ



各区・地域での保健機能の必要性を証明。
 ● 「行財政改革計画」の撤回を
 ○ 歳入歳出の改革に取り組む。
 ◎ 「改革」の意味が全然違う。居直り。
 ● 「財政危機」と言うなら、北陸新幹線や油小路通り地下トンネル計画などはやめるべき。
 ○ 京都の発展の為、重要な事業だ。
 ◎ 市民の暮らしを守ることにこそが最重要な事業のハズ。
 ● 市バス・地下鉄の運賃上げはやめよ。
 ○ 運賃改定に踏み込まざるを得ない状況だ。
 ◎ 市民の足を守ることに第一義。「独立採算制」(運賃で賄う原則)が間違っており、この仕組みを押しつけている国に、もっと改善と



財政負担を求めざるべき。
 ● 地球温暖化対策の目標を引上げ、前倒しで達成を。
 ○ 2050年、CO2排出量ゼロをめざす。
 ◎ 中間の30年目標を高く掲げ、その達成を現実しないと、その後の20年では間に合わない。
 ● 学童保育利用料値上げ・民間保育園職員の賃下げ方針は撤回せよ。
 ○ 利用に応じた料金に。保育士の給与水準と配置基準は維持していく。
 ◎ 所得に応じた利用料とすべき。保育士以外の職種はどうなる？
 ● 敬老乗車証の改悪方針の撤回を。
 ○ 持続可能な制度へ。
 ◎ 対象者を限定し、持続どころか制度崩壊だ。
 ● 市営住宅を増やせ。家賃減免制度の見直し計画は撤回すべし。
 ○ 市営住宅は充足している。真の困窮世帯への減免制度に見直す。
 ◎ 充足していない。結局は値上げだ。

保育園の職員 さんたちと勉強



2日、民間保育園の職員さんたちと、市長の「行財政改革計画」について勉強しました。同「計画」には、保育園職員の賃下げと保育料値上げの方針が掲げられています。井上議員は、労働組合と園長先生、保護者会で団結し、「計画」の撤回を求める運動を、と呼びかけました。
 市長は「財政危機」と言いながら、北陸新幹線など大型事業のムダ遣いを推進。また国が、国から各地方自治体、京都市へのお金(地方交付税交付金)を減らしており、その増額を求めなければならぬのに、市長は「国も大変」などと言って国言いなり。
 井上議員は、「政権交代で国の政治を変え、『財政危機』打開、市長の『計画』の撤回を」と訴えました。